

2023年度事業計画

下記日程には一部予定を含みます。

3月	【3月9日(木)】2023年度事業計画説明会開催(オンライン) 大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会の事業計画説明(企業・団体向け)
4月	【上旬】受入依頼状等を企業・団体に発送 インターンシップ研修生受け入れの可否及び インターンシップ受入プログラム合同説明会参加の有無について照会 【4月24日(月)】受入可否・合同説明会参加可否回答締め切り 上記案内書類(アンケート等)の回答締め切り
5月	【5月27日(土)】合同説明会開催(オンライン)
6月-7月	【6月下旬】各大学から企業・団体へインターンシップ研修申込書発送 【6月下旬～7月上旬】企業・団体の学生面接 学生の研修希望先での面接
8月-9月	インターンシップ研修
9-10月	【上旬】研修先企業・団体に研修受入後のアンケート送付
11月-12月	拡大懇談会開催

各大学インターンシップ関連連絡先

愛媛大学 教育学生支援部就職支援課 〒790-8577 松山市文京町3番 TEL 089-927-9164(直) FAX 089-927-9181 www.ehime-u.ac.jp/	松山大学 教務部教務課 〒790-8578 松山市文京町4-2 TEL 089-926-7137(直) FAX 089-923-8920 www.matsuyama-u.ac.jp/	松山東雲女子大学 松山東雲短期大学 キャリア支援課 2023年度 事務担当校 〒790-8531 松山市桑原3丁目2-1 TEL 089-913-2610(直) FAX 089-931-6402 college.shinonome.ac.jp/	聖カタリナ大学 学生部就職課 〒799-2496 松山市北条660 TEL 089-993-0731(直) FAX 089-993-0717 www.catherine.ac.jp/
--	---	---	---

編集・発行/大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会
インターンシップ・プログラム実施報告書 Internship Program Report 2022

(大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会) <https://www.univcon.ehime-u.ac.jp/internship.html>
※上記ページ内の「インターンシップ情報管理システム(企業・団体用)」にBCPを掲載

一般社団法人えひめ若年人材育成推進機構は、ジョブカフェ愛work、ふるさと愛媛Uターンセンターの事業を通じて
企業・保護者・教育機関と連携し、若者の人材育成と地域社会の活性化に取り組んでいます。

若者向け

就職活動だけでなく、
離職防止のための在
職者相談など、若者
のライフキャリア全
般をサポートしてい
ます。



保護者

変化する子どもたち
の就職活動、キャリ
ア意識、適切な関わ
り方、地元企業の魅
力を伝えていきます。



企業・経済団体

地元企業と若者の出
会いの場を創り、愛
媛で働く魅力を若者
に伝えています。



教育機関

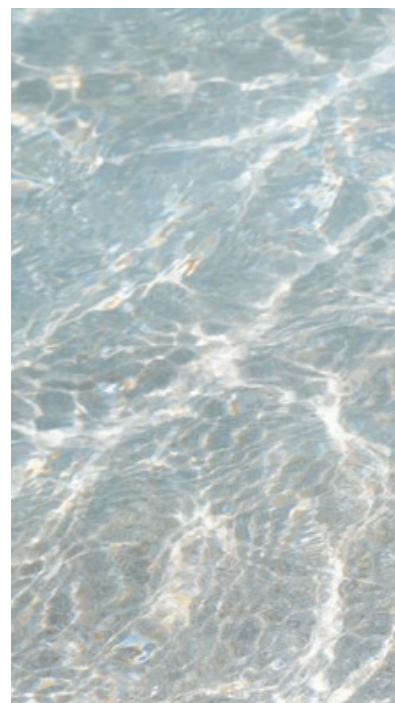
重要性が高まる子ど
も達のキャリア教育
を、出前授業、職業体
験支援、教材開発等
でサポートします。



ジョブカフェ愛work
WEBサイト



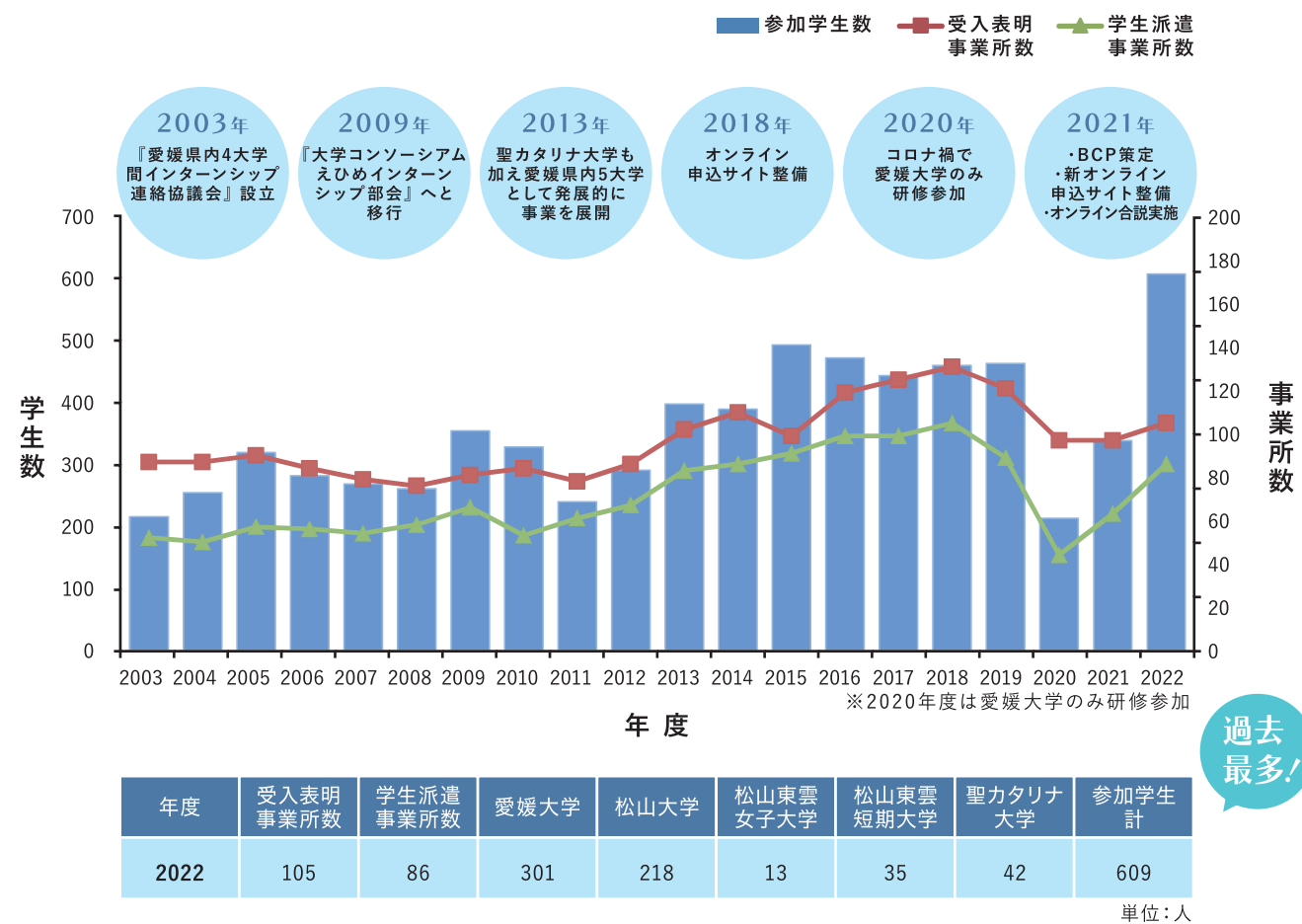
Internship Program Report 2022 インターンシップ・プログラム実施報告書



2022年度大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会

大学コンソーシアムえひめインターンシップのあゆみ

参加学生数および事業所数



各大学からのごあいさつと実施報告

部会長あいさつ

2022年度のインターンシップ研修実施の御礼および2023年度以降の取り組みへのご協力をお願い

企業・団体の皆様には、平素より私ども愛媛県内の大学・短期大学の教育活動に多大なるご支援を賜り、誠にありがたく存じます。コロナ禍で2021年度には部会共通のBCPを策定し、2022年度は86事業所に5大学609名の学生を送り出しました。本部会は2003年度より約20年間、皆様と共に歩んでまいりました。今後とも学生の成長と県内活性化のため、変わらぬご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会
2022年度部会長 長尾由希子
聖カタリナ大学 教授

愛媛大学

愛媛大学では、インターンシップは社会へ移行する学生の成長を支える重要な教育活動として位置づけられ、学生が充実した職業体験ができるよう、教職員が一丸となって支援を行っています。本年度は、301名の学生を69事業所の企業・団体様に受け入れていただきました。誠にありがとうございました。今後も、企業・団体様と大学とが円滑な連携が取れるよう、体制を強化してまいります。引き続き、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学

本学では、全学を挙げてインターンシップ研修に取り組み、事前・事後指導の拡充に努めております。10月に学内で開催された報告会では、コロナ禍におけるインターンシップ研修の実施について受入企業・団体の皆様がさまざまな新しい取り組みに挑戦されている事例等をお聞きすることができ、大変参考になりました。今後とも主体的に考え行動できる学生の育成に変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

松山大学

本学のインターンシップ教育の取り組みは、1995年に学生自身で研修先を開拓したことから開始され、2002年からは文系学部すべてで実施されるプログラムとなり、今に続いております。研修に対して事前講義および事後講義を実施することにより学生たちの学びをさらに深いものにしております。事業所様におかれましては、お忙しい中、学生を受け入れ教育を頂き、心より感謝致しております。今後とも変わらぬご支援をいただけたら幸いです。

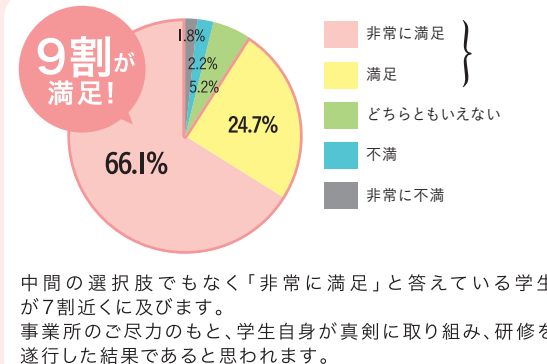
聖カタリナ大学

聖カタリナ大学は2013年度より参加しています。就職課による様々なプログラム、学科教員による授業で事前指導を行い、後学期に研修報告会を開催し、小規模校の強みを活かし全員に個別フィードバックを行っています。2022年度の参加人数は42名(人間社会学科37名・社会福祉学科5名)、受入事業所数は28でした。事業所様のご尽力と学生の努力で、履修登録者全員が研修を終えられました。心より御礼を申し上げます。

学生アンケート集計結果から

2022年度は4法人5大学で全体として初めてアンケート集計を行いました(従来、各大学単位では実施)。
インターンシップ研修後の学生の声を一部紹介します(有効回答数271人/全体の参加学生609人=有効回答率44.5%)。
※271人の内訳=愛媛大学117人、松山大学96人、松山東雲女子大学13人、松山東雲短期大学34人、聖カタリナ大学11人

あなたが参加したインターンシップ研修について、全体としてどのように感じましたか。



満足度が高かった学生の意見

社会人と大学生では根本的に全てが違うなと感じさせられるとともに、今のままの自分じゃダメだと痛感させられたから。今後自分も社会人になるために必要なことを少しでも今回のインターンシップで学ぶことが出来たから。

実際に業務されている様子を拝見し、自分自身も経験させて頂いたことで、業務を行う上で必要な能力を知ることができ、今後の自分の課題を見つけることが出来たから。また、就職活動へのモチベーションの向上にも繋がった。

コロナ禍であるため制限されることは少なくなかったが、それでも多方面からの配慮があったからこそ、自身の知識や経験を磨くことができた。

インターンシップ先の企業や業界について知るだけでなく、自分の強みや弱み、今後の課題などに気づける機会になったから。

不満だった学生の意見

当初は対面での実施予定だったが、オンラインでの実施へと変更になり、自分の思っていた活動ができなかったから。ただ実施内容に関しては学べた事が多く、良い経験をさせて頂くことができた。

対面で実施されたが他の人は実際にお客様に提供していた様子だったが私の場合は実際の業務を体験するのではなく同行するだけでほとんど付き添いのような感じだったから

実務業務が少なかったため、業務について十分な理解が深められた反面、その職業で働く具体的なイメージが掴めなかった。

コロナウイルスが流行っていたため仕方がなかったとはいえ、対面で参加したいと思っていたから。

特によい印象に残っている研修内容があれば、具体的に教えてください。

営業体験がとても印象に残っています。初めての経験で緊張しました。どのように製品の良さを伝えるべきなのかばかり考えていましたが営業は相手が必要としているものを汲み取る力が必要だということを学べたので営業体験はすごく学びが多かったです。

先輩社員との座談会として、昨年度と今年度入社した社員さんとお話しする機会があった。年齢の近い人と就活や職業観について話すことができ、励まされる思いだった。

社員の方達と話す機会を多くっていただいたので、自分がその職場で働く姿が想像出来て、たくさんの情報が知れたこと。

自分が出したアイデアについて、経済性や技術的観点からアドバイスをもらったこと

第一希望の研修先ではなかった学生も

9割以上が満足

		総合満足度			合計
		不満	どちらとも言えない	満足	
あなたが研修に行った企業は第一希望でしたか	はい	11 4.6%	12 5.0%	216 90.4%	239 100.0%
	いいえ	0 0.0%	2 6.5%	29 93.5%	31 100.0%
合 計		11 4.1%	14 5.2%	245 90.7%	270 100.0%

単位:人

対面の方が満足度が高いようです。

		満 足	不満・普通	合 計
研修の実施形態	対 面	217 92.3%	18 7.7%	235 100.0%
	オンラインのみ&対面とオンライン	29 80.6%	7 19.4%	36 100.0%
合 計		246 90.8%	25 9.2%	271 100.0%

単位:人

2022年度 インターンシップ研修報告

今年度は新型コロナウイルスの影響により、各イベントがオンライン開催となりました。夏の研修時はBA.5医療危機宣言が出されましたが、新たに作成したインターンシップ研修BCPに沿って、受入企業・団体様は柔軟にご対応くださいました。対面・オンライン・課題提供など多様な形で、ほとんどの学生が無事研修を終えることができました。(注：インターンシップ研修BCPは部会ホームページ内に掲載)

事業計画説明会(オンラインで実施)

- ・本事業の方針やプログラムを説明。
- ・新たに作成した「インターンシップ研修BCP」(コロナ禍でのインターンシップ研修判断基準マニュアル)のご案内。
- ・大学コンソーシアムえひめの5大学が実施するインターンシップへの理解を深めました。(受入をご検討の65事業所・団体様のご参加)

3月23日
(水)



株式会社ありがとうサービス

合同説明会(オンラインで実施)

- ・コンソーシアムえひめの5大学に在学中の研修希望学生が参加。
- ※合同説明会後の一次エントリー学生数は717名。
- ・各企業・事業所の説明や研修プログラム内容を聞き、学生は研修先を選びます。
- ・予めご案内した時間枠にてご説明いただき、学生は各自ログインする形式でした。

4月
月上旬

4月
月中旬

研修の様子

できるだけ**対面**での研修をお願いしております。コロナ等が発生した場合にはインターンシップ研修BCPに沿い、必要に応じて日程変更や、リモート研修や課題提示の併用・変更といった対応をしていただきました。

5月28日
(土)



株式会社西条産業情報支援センター

拡大懇談会(オンラインで実施)

- ・5大学の今年度の研修状況や、研修後の担当者アンケートを共有。
- ・**3事業所**による実施プログラム内容を共有したのち、少人数に分かれて意見交換。
- ・今後学生がより成長できるプログラム作りに役立てることが出来ます。
- ・今年のインターンシップ事業を総括。
- (今年度受入表明の35事業所・団体様のご参加)

- 【参加者による意見の一部】
- ・他社のインターンシップの様々な事例、取組みが分かり勉強になった。
 - ・他社の採用担当者様と交流できる機会はないので、貴重な時間だった。

6月
月下旬

7月
月上旬

インターンシップ内容 (WEB)

<気を付けたこと>

- ・事前にオンライン機器の確認を行う。(PC、マイク、カメラ、ネット環境)
- ・アイスブレイクの時間を多めに設ける。
- ・休憩時間を増やす、自主学習の時間を入れる。
- ・些細な質問でもできるように、声掛けを行う。



<実施してみた感想>

●伝えられた点

- ・立場によるものの見方の違い
- ・キャリアプラン
- ・グループワークの進め方
- ・就活に向けての動き方・準備

●伝えきれなかった点

- ・物流の「実際の仕事」について
→実際の物流現場を見れない為、対面型に比べ情報量が少なくなってしまう。

一宮運輸株式会社(オンライン研修)

対面開催ができない場合でも「学生に少しでも新しい気づきを…」という気持ちで、より良いWEB型プログラムができるよう考えています。

2日目

企業訪問

研修生ひとりにつき市内企業を3社訪問、企業PR動画を制作するための取材と動画素材集めを行う。一度に複数の企業を効率的に知ることが出来る。



株式会社西条産業情報支援センター(対面研修)

一度に複数の企業・業界を知り、就職活動のノウハウを得られ、自己発見・自己開発にもつながってほしいという思いで設計しています。

ありがとうサービス 2022コンソーシアムインターン

■8月24日～8月28日(対面/5日間)

■参加人数 10名(全員とWEB面談)

■テーマ:働くことへの理解が深まる【仕事体験】

コロナ感染拡大を考慮し、プログラム内容の変更を決断

⇒8月23日 愛媛県【BA.5医療危機宣言】発令

■8月24日～8月28日(WEB+対面併用/5日間)

■参加人数 10名⇒9名

■テーマ:フィールドワーク&グループワーク【課題解決】

【空き家物件の活用案を提案せよ!】

株式会社ありがとうサービス(対面研修・オンライン研修併用)

参加していただいた学生の自己成長の場として活用いただくこと。働くことや会社について理解を深めるため、自ら動き、学び、体感できるプログラムを意識しています。

10月
月下旬

12月9日
(金)



株式会社西条産業情報支援センター

インターンシップ研修
(合計609名が対面やオンラインなどで研修を受ける)

インターンシップ研修生受入
企業へのアンケート
(回収数57/配布数86)

インターンシップ研修 参加学生の声

愛媛大学

理学部理学科理学コース
3年

さくらば
櫻原

みずほ
瑞穂

研修先

愛媛トヨタ自動車株式会社

愛媛トヨタ自動車株式会社のインターンシップのテーマは「自分を映す鏡を磨く」、自己理解を深めることをメインとしたものでした。私はこのプログラムで自分の課題を認識した上で改善していきたい思い、参加を決めました。

インターンシップ中は店舗の業務体験の他、コミュニケーションに関わるワークや小学生出張講座の企画から実施まで行い、最終日にはドリームマップ作成を行いました。会長や社長、店長、NPO法人の代表の方から貴重なお話を聴く機会もあり、大変勉強になりました。

このような10日間の中では非常に学ぶことが多く、自身の成長に繋がったように思います。特にコミュニケーション関連について印象に残っています。ワークでは相手に分かりやすく話すコツを実践したことで、自分が気を付けるべきことを発見できました。出張講座では小学生と関わる中でコミュニケーションの原点に立ち返り、相手に興味を持つような分かりやすい話し方をするべきだと気づくことができました。他に、目的・目標設定とその振り返りや主体的行動の重要性を実感し、働く意味について学び考えることで、私の行動や考え方に大きく影響を与えた実習でした。この経験を今後の人生に活かしていこうと思います。

松山大学

経済学部経済学科
3年

たかやま
高山

あいな
愛菜

研修先

生活協同組合コープえひめ

私は3つの目標を持ってインターンシップに参加しました。1つ目は、社会人としてのマナーや責任感を学び、身につけることです。2つ目は、企業の雰囲気や体感し、企業理解を深めることです。3つ目は、自分の得意不得意を見つけ、自己分析を行うことです。

私が生活協同組合コープえひめ様を研修先に選択した理由は5日間の研修で事業所や共同購入部門、店舗などの様々な部署を体験することができるからです。また、少子高齢化の進む愛媛県では宅配は高齢者にとって重要な買い物手段であり、それを担う共同購入部門について興味があり志望しました。

5日間の研修では事業所訪問や共同購入部門でのトラックの同乗、店舗研修をさせていただきました。これらの研修を通して研修前に設定した3つの目的を達成できたと感じました。協同組合の社員さんと組合員さんの関係を見て企業理解が深まるとともに、社会人としての責任感を学ぶことが出来ました。また、企業としての利益を追求するのではなく、組合員さんの利益のために働くという社員さんの共通認識のようなものを感じました。そこで、私はこの研修で学んだことを活かし、将来はお客様の利益を追求し社会に貢献できる社会人になりたいと思います。

松山東雲女子大学

人文科学部
心理福祉専攻
3年

おかざき
岡崎

ことみ
琴弓

研修先

松山総合開発株式会社
ANAクラウンプラザホテル松山

私がインターンシップ研修に参加した目的は主に二つあります。一つ目は、働くことの魅力・大変さや社会人としてのマナーはもちろん、お客様に対するおもてなしで大切なことについて学び、社会人としての責任を身につけることです。二つ目は、研修を通して発見した自分の強みや弱点をもとに、今後の自分自身の成長につなげることです。

研修では、客室管理やベル、宴会スタッフの業務、グループワークなどをさせて頂きました。研修を通して一番学んだことは、一人一人のお客様に合ったサービスを提供するためにも、部署関係なく、従業員同士でのコミュニケーションを大切に、チーム一丸となるということです。研修するまでは、人とあまり関わらないというイメージがあった客室清掃スタッフは、客室管理をするチェッカーと連絡を取り合わない、間違ったものを提供してしまうかもしれないということを学んだため、従業員同士でのコミュニケーションをとることは大切であると感じました。

私は、研修を通して、自分の行動に自信を持つことを心がけるようになりました。私が自信を無くす原因は、その行動の目的を明確にできていないためであると、ベルの業務を体験して学びました。また、担当してくださった方からも、「少し自信がないように見える。自信のないときこそ笑顔を心がけよう」とアドバイスを頂きました。これらのことから、その後のアルバイトでは、目的意識をしっかりと持ち、失敗をした時でも切り替えて笑顔でいることを心がけるようになりました。

松山東雲短期大学

現代ビジネス学科
1年

うえもり
上森

こはる
己晴

研修先

株式会社オートクチュール

今回のインターンシップ研修で、「考えることの大切さ」を感じることができました。ゲームの企画書やイラスト指示書を作成する機会が多く与えられたからです。これまでの私は、どちらかと言うと自分の意見を発表することが苦手で、人に任せしてしまうことが多かったです。研修中も、自分が考えたゲーム案に自信がなく最初は消極的でした。これではいけないと思い直し、「オリジナリティをどのように出して、ゲームをおもしろくするか」ということを徹底的に考え、発言の機会を増やしていきました。すると、グループの仲間たちからアイデアを褒められたり、いろいろなアドバイスを頂いたり、より良いゲームづくりに活かすことができました。自分の意見をしっかりと持ち、なおかつ、まわりの方々の意見にも耳を傾けて業務を遂行する、そのようなすばらしい体験ができたことに感謝しています。今後の学生生活においては、常に自分の考えを持って取り組み、社会に出たときに意見を期待される人になりたいです。

聖カタリナ大学

人間健康福祉学部
人間社会学科
3年

ゆりた
百合田

ゆきの
雪乃

研修先

伊予市役所

私は、自分の将来の働き方として、官公庁での仕事を選択肢として考えていました。そこで、どのような業務を行っているのか詳しく知りたいと思い、官公庁の中でも地元近く、親近感のある伊予市役所での研修を希望しました。一緒に研修を行うインターン生とも積極的にコミュニケーションをとり、協力しながら業務を進めることも目標の1つでした。

実際に研修を受けてみると、官公庁の仕事にはデスクワークが多いのだらうと想像していたのですが、地域事務所での仕事のように、事務所の外に出て地域の方々とコミュニケーションをとりながら行う業務もあるのだと知りました。また、職員の方々は仕事があるとすぐに他の職員と情報を共有し、計画を立てて迅速に作業に取り掛かっていました。自分も普段から、やるべき仕事に対してきちんと計画を立て、素早く進めることが大切だと学べました。加えて、仕事を行う上でコミュニケーション能力はやはり非常に重要だと感じました。仕事を行う際は他の部署の方や、歳の離れた方とも業務についての会話をする必要がありますが、そのためには、傾聴力や自分の考えを正しく相手に伝える能力を身につけていかなければならないと感じました。



生活協同組合コープえひめ



愛媛トヨタ自動車株式会社



伊予市役所

受入事業所側 研修後アンケート集計結果から

※一部の回答結果と概要をまとめました(他の設問の回答結果は拡大懇談会で共有しました)。

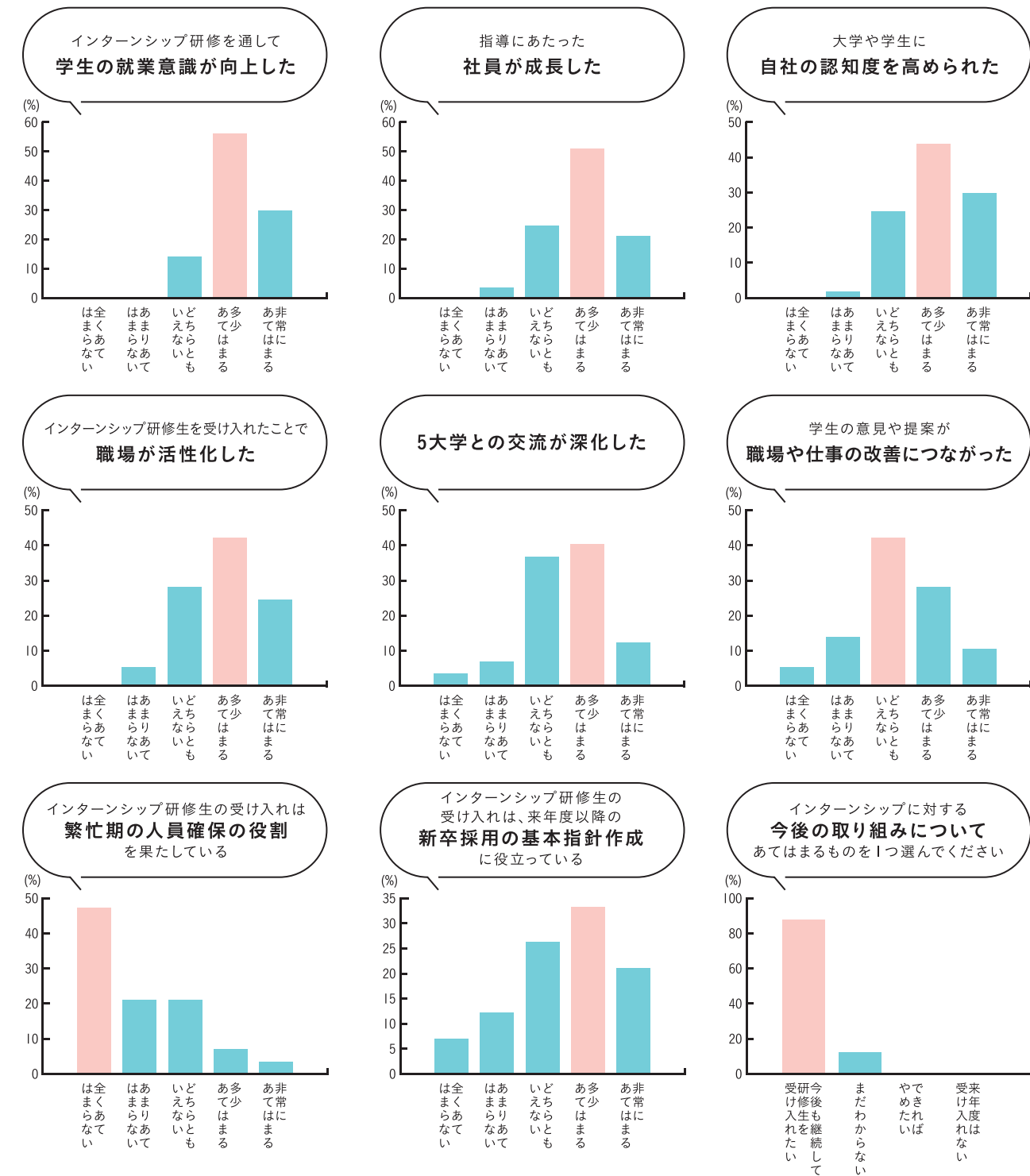
本事業および運営を改善するため、2022年度に学生を**受け入れてくださった86事業所**にアンケートを行い、**57事業所**からご回答いただきました(有効回答率66.3%)。

9割近くの事業所に「**学生の就業意識が向上した**」と評価いただき、「指導にあたった**社員が成長した**」、「**自社の認知度を高められた**」、「研修生を受け入れたことで**職場が活性化した**」などの項目で**7割前後が肯定的**にとらえておいででした。

また、「研修生の受け入れは、**繁忙期の人員確保**の役割を果たしている」には**7割が否定的**、「学生の意見や提案が**職場や仕事の改善につながった**」については4割が「どちらともいえない」と回答されており、本インターンシップ事業が**教育的な性格が強い**ものであることが伺えます。

「今後も継続して**研修生を受け入れたい**」のご回答は**9割近く**におよび、改めてコンソーシアムえひめインターンシップが事業所と大学、**地域ぐるみ**で学生を育てる場になっていることを実感しました。「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」が示したように、2023年度からインターンシップも新時代に入ります。時代の変化を見据えつつ、引き続き事業所の皆様と大学で協力して学生を支援していきたいと思っております。

文責:2022年度部会長 聖カタリナ大学 長尾由希子



受入事業所一覧(順不同)

1 株式会社スイッチカンパニー	44 株式会社愛媛FC
2 あけはまシーサイドサンパーク株式会社	45 特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク
3 社会医療法人石川記念会 HITO病院	46 愛媛県
4 一宮運輸株式会社	47 国立大学法人愛媛大学
5 伊予市役所	48 愛媛トヨタ自動車株式会社
6 宇和島市役所	49 一般財団法人休暇村協会 休暇村瀬戸内東予
7 愛媛県警察本部	50 株式会社クック・チャム四国
8 公益財団法人 えひめ東予産業創造センター	51 自衛隊愛媛地方協力本部
9 愛媛労働局	52 シブヤ精機株式会社
10 株式会社エフエム愛媛	53 住友金属鉱山株式会社 別子事業所
11 株式会社オートクチュール	54 生活協同組合コープえひめ
12 特定非営利活動法人 家族支援フォーラム	55 株式会社セブンスター
13 月心グループ 株式会社公益社	56 株式会社大屋(ドラッグストアmac)
14 株式会社西条産業情報支援センター	57 トヨタL&F西四国株式会社
15 NPO法人 西条まちづくり応援団	58 トヨタカローラ愛媛株式会社
16 重松建設株式会社	59 新居浜市役所 人事課
17 四国中央市役所 人事課	60 株式会社日本エイジェント
18 田中商事株式会社(スペース田中)	61 株式会社ファインデックス
19 濱田農園	62 株式会社フェローシステム
20 公益財団法人 松山市男女共同参画推進財団	63 株式会社三好鉄工所
21 株式会社昆布森	64 株式会社ゆうぼく
22 株式会社大亀製作所	65 有限会社ラポール
23 株式会社宮嶋組	66 株式会社ハート
24 松山市役所	67 ツウテック株式会社
25 株式会社ホテル八千代	68 株式会社エヌ・ピー・シー
26 NPO法人 いよココロザシ大学	69 セキ株式会社
27 宇和島ケーブルテレビ株式会社	70 不二精機株式会社 松山工場
28 株式会社トヨタレンタリース西四国	71 株式会社トップエフォート
29 ネットトヨタ南国株式会社	72 協和紙工株式会社
30 株式会社ビオトープ	73 医療法人きらり
31 特定非営利活動法人 ぶうしすてむ	74 八幡浜市
32 株式会社フジファミリーフーズ	75 学校法人 松山東雲学園
33 株式会社マイタウン今治新聞社	76 松山赤十字病院
34 株式会社ヨンキュウ	77 株式会社ホテル椿館
35 株式会社レスパスコーポレーション	78 愛媛トヨペット株式会社
36 ジャスティン株式会社	79 国立大洲青少年交流の家
37 MOVE Q株式会社	80 一般社団法人えひめ若年人材育成推進機構 (ジョブカフェ愛媛work)
38 松山総合開発株式会社 ANAクラウンプラザホテル松山	81 聖カタリナ大学
39 株式会社ありがとうサービス	82 セーラー広告株式会社 愛媛本社
40 今治市役所 人事課	83 株式会社テレビ愛媛
41 株式会社伊予鉄高島屋	84 学校法人 松山大学
42 株式会社伊予鉄グループ	85 東芝ライテック株式会社
43 愛媛医療生活協同組合	86 株式会社フジ

研修の実施形態について

Q 貴社・貴団体では、どのような形態でインターンシップ研修を実施されましたか。

	事業所数(%)
対面での実施	47 (82.5%)
オンラインでの実施	3 (5.3%)
対面とオンラインの実施	7 (12.3%)
合計	57 (100.0%)

実施方法は**8割が対面**で実施、併用は1割強

Q 貴社・貴団体で実施されたインターンシップ研修では、体験学習と座学の割合はどのようでしたか。大まかにお答えください。

	事業所数(%)
体験学習の方が座学より多かった	39 (68.4%)
体験学習と座学と半々ぐらいだった	12 (21.1%)
座学の方が体験学習より多かった	3 (5.3%)
その他	3 (5.3%)
合計	57 (100.0%)

研修の内容は**体験学習が7割** 座学と半々が2割